

令和7年度 富士見市下水道事業会計予算（概要）

1 予算概要

(1) 予算編成概要

下水道事業収益の主たる収益である使用料収入は前年度と同水準を見込んでいる。下水道事業費用の主な支出として、管渠費の維持管理費等が増加する見込みであることから、前年度より増加する見込みである。また、長期的には人口の減少により使用料収入の減少が懸念され、今後増大する老朽化施設の更新や激甚化・頻発化する災害への対応に費用が必要となることを見込まれる。

令和7年度の公共下水道汚水事業については、前年度に引き続き、施設の老朽化対策、浸水対策、地震対策に取り組んでいく。施設の老朽化対策については、管路施設に関わる既存のストックマネジメント計画を更新するほか、管渠の更生や修繕工事、雨水ポンプ場の更新工事等を実施する。浸水対策については、大雨時に針ヶ谷地区の雨水を柳瀬川へ強制排水するため、新たな雨水ポンプ場整備の事業化を目指す。地震対策については、総合地震対策計画に基づき、緊急輸送道路や鉄道を横断する雨水管の耐震診断調査を実施する。

今後も安全・安心の確保と快適な生活環境・水環境の向上、下水道事業の持続に資するため、施設の計画的な整備と維持管理に努め、健全で効率的な経営を推進するための予算を編成した。

(2) 予算規模

第3条予算（収益的収入及び支出）の収入は前年度比4.1%増の19億623万7千円、支出は前年度比9.7%増の18億6,365万6千円で、収支差引で4,258万1千円の黒字を見込んでいる。

第4条予算（資本的収入及び支出）の収入は前年度比19.4%減の7億3,354万2千円、支出は前年度比16.0%減の13億4,942万5千円となり、収支差引では6億1,588万3千円の赤字が見込まれる。

(3) 財源不足額

第4条予算の赤字分については、損益勘定留保資金等で補填する。

2 予算（収入）の主な特徴

(1) 3条予算（収益的収入）

○ 営業収益

下水道使用料は、前年度とほぼ同水準の10億2,231万円とした。

他会計負担金は、主に一般会計からの繰入金として、前年度比8.6%増の3億8,808万6千円とした。

その他の営業収益は、16万円とした。

○ 営業外収益

受取利息は、29万5千円

他会計補助金は、1億44万円

補助金は、1,815万円

長期前受金戻入は、3億6,771万6千円

雑収益は、179万6千円

消費税還付金は、728万3千円とした。

(2) 4条予算（資本的収入）

企業債は、前年度比16.0%減の6億8,420万円

国庫(県)補助金は、前年度比86.3%減の750万円

負担金は、受益者負担金及び他会計負担金として一般会計からの負担金等を前年度比1.3%増の4,184万2千円とした。

3 予算（支出）の主な特徴

(1) 3条予算（収益的支出）

○ 営業費用

- ① 管渠費は、管渠等の維持管理に要する経費で、主に修繕費、工事請負費、委託料、負担金等で前年度比19.6%増の7億3,929万7千円とした。

【主な支出】

委託料 1億7,912万3千円

・維持管理、監視業務、管路施設耐震診断及び雨天時浸入水対策、官民連携導入可能性調査、内水ハザードマップ等作成の業務委託等

修繕費 1,542万8千円

・ポンプ、その他修繕等

負担金 5億632万8千円

・荒川右岸流域下水道維持管理負担金等

- ② 業務費は、使用料徴収業務等に要する経費で、前年度比2.5%増の6,494万7千円とした。

【主な支出】

委託料 5,521万2千円

・下水道使用料徴収事務委託等

- ③ 総係費は、下水道事業の総括的な経費で、前年度比54.5%増の5,752万2千円とした。

【主な支出】

委託料 1,605万円

・経営戦略改定業務委託等

負担金

206万5千円

・下水道協会負担金等

- ④ 減価償却費は、構築物などの減価償却費として、8億8,595万円とした。
- ⑤ 資産減耗費は、構築物等の固定資産除却費として、2,731万9千円とした。

○ 営業外費用

- ① 支払利息は、前年度比7.4%増の8,680万6千円とした。
- ② 雑支出は、50万円とした。

○ 特別損失

- ① 過年度損益修正損は、55万円とした。

(2) 4条予算（資本的支出）

○ 建設改良費

- ① 建設総係費は、建設改良に伴う事務費等の経費で、前年度比8.2%増の9,873万6千円とした。
- ② 公共下水道建設事業費は、前年度比31.4%減の5億5,995万1千円とした。

【主な支出】

委託料 9,125万9千円

- ・ストックマネジメント実施計画更新業務委託（管路施設）
- ・雨天時浸入水対策計画に基づく公共下水道管渠調査業務委託
- ・山室ポンプ場更新設計業務委託
- ・耐水化計画更新業務委託（別所雨水ポンプ場）
- ・公共下水道事業計画等申請図書作成業務委託

工事請負費 4億5,828万円

- ・管渠更生工事、管渠布設替工事
- ・管渠修繕工事
- ・水谷東ポンプ場更新工事、出口ポンプ場更新工事
- ・桜井雨水ポンプ場更新工事

- ③ 特定環境保全公共下水道建設事業費は、前年度比3.8%減の6,466万6千円とした。

【主な支出】

工事請負費 5,260万円

- ・新河岸第16-1-1汚水管渠築造工事

- ④ 流域下水道事業費は、前年度比54.3%増の1億3,559万9千円とした。

【主な支出】

負担金 1億3,559万9千円

- ・荒川右岸流域下水道事業建設負担金

○ 償還金

企業債償還金は、前年度比9.9%減の4億8,947万3千円とした。

- ・公共下水道償還金 2億9,801万2千円
- ・流域下水道償還金 6,478万9千円
- ・特定環境保全公共下水道償還金 1億2,667万2千円

企業債の令和7年度末未償還残高は、76億3,942万9千円となる見込みである。

■令和7年度富士見市下水道事業会計予算

収益的収入及び支出

収 入		(単位：千円)	
款	項 目	予 定 額	対前年度増減額
下水道事業収益		1,906,237	75,796
営業収益		1,410,556	28,663
下水道使用料		1,022,310	△ 298
他会計負担金		388,086	30,736
その他の営業収益		160	△ 1,775
営業外収益		495,680	47,133
受取利息		295	233
他会計補助金		100,440	47,440
補助金		18,150	18,150
長期前受金戻入		367,716	△ 13,510
雑収益		1,796	0
消費税及び地方消費税還付金		7,283	△ 5,180
特別利益		1	0
過年度損益修正益		1	0

支 出		(単位：千円)	
款	項 目	予 定 額	対前年度増減額
下水道事業費用		1,863,656	164,284
営業費用		1,775,300	158,109
管渠費		739,297	121,272
業務費		64,947	1,602
総係費		57,522	20,296
水洗化促進費		265	0
減価償却費		885,950	9,435
資産減耗費		27,319	5,504
営業外費用		87,306	6,175
支払利息		86,806	5,975
雑支出		500	200
特別損失		550	0
過年度損益修正損		550	0
予備費		500	0
予備費		500	0

■令和7年度富士見市下水道事業会計予算

資本的収入及び支出

収入 (単位：千円)

款	項	目	予 定 額	対前年度増減額
資	本	的 収 入	733,542	△ 176,957
	企	業 債	684,200	△ 130,400
		企 業 債	684,200	△ 130,400
	国	庫(県)補助金	7,500	△ 47,100
		国 庫(県)補助金	7,500	△ 47,100
	負	担 金	41,842	543
		負 担 金	41,842	543

支出 (単位：千円)

款	項	目	予 定 額	対前年度増減額
資	本	的 支 出	1,349,425	△ 257,160
	建	設 改 良 費	858,952	△ 203,398
		建 設 総 係 費	98,736	7,503
		公 共 下 水 道 費	559,951	△ 256,111
		特 定 環 境 保 全 公 共 費	64,666	△ 2,520
		下 水 道 建 設 事 業 費	135,599	47,730
	償	還 金	489,473	△ 53,762
		企 業 債 償 還 金	489,473	△ 53,762
	予	備 費	1,000	0
		予 備 費	1,000	0